

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社シーエナジー)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合	【予定】 の場合	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・「中部電力グループ人権基本方針」に従い、全ての人権が尊重される社会の実現に向けて、企業の社会的責任を果たす取り組みをしている。 ・雇用、昇進・登用および教育などの処遇条件で、差別しない体制を構築し、役員が積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・「中部電力グループ人権基本方針」に従い、全ての人権が尊重される社会の実現に向けて、企業の社会的責任を果たす取り組みをしている。 ・中部電力グループの管理職向けハラスメント防止の研修に参加し、その内容を職場に共有して教育を実施している。 ・中部電力グループ共同ヘルプラインに参画し、相談体制を整備している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・厚労省の労働時間適正把握ガイドラインに従い、PCログ記録等の客観的記録により労働時間の適正な把握・管理を実施している。 ・フレックスタイム勤務制およびテレワークの推進により長時間労働を抑制している。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・「中部電力グループ人権基本方針」に従い、全ての人権が尊重される社会の実現に向けて、企業の社会的責任を果たす取り組みをしている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・会社の行動指針に「自分のため、家族のため、ともに働く仲間のために、安全と健康を最優先する」を掲げ、また、安全衛生管理規程を定め、従業員の災害防止および疾病予防・健康増進に向けた取り組みをしている。 ・定期的に安全衛生に関する教育を実施している。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・安全衛生管理規程に従い、心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)を定期的に実施し、それに基づく職場環境の改善およびメンタルヘルス対策を実施している。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・シニア社員就業規則に従い、70歳までの就業機会を確保し、ベテラン社員が活躍できる環境を整えている。 ・チャレンジド(障がい者)が十分に活躍できる環境を整備している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・職務や役割に応じた研修体系を整備し、実施している。 (新入社員研修、技術力向上研修、管理職研修など) ・中部電力グループの研修や講演会等に参加している。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・会社の行動指針に「自分のため、家族のため、ともに働く仲間のために、安全と健康を最優先する」を掲げている。また、安全衛生管理規程を定め、従業員の災害防止および疾病予防・健康増進に向けた取り組みをしている。 ・定期的に安全衛生に関する教育を実施している。			3					8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・産業廃棄物基準に従い、分別・保管・処理を実施している。											11.6	12		14.1			
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している。							7.3						13				
	【有価不・温室効果ガスの削減計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・中部電力グループ 環境基本方針に基づき、自社の温室効果ガス排出の抑制に取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・環境性が優れたLNGを燃料とした高効率設備を使用し、窒素酸化物(No x)などの有害化学物質の抑制に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】 の場合 選択入力	具体的な取組 (果などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
5	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・再生可能エネルギー等、環境に配慮した設備およびサービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している。						6.6									15			
6	【3 Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・設備設置の設計・建設および運転・保守において環境性を考慮し、3Rを推進している。											13		14.1					
環境	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・水力発電設備は、少ない水量でも発電できる設備を採用し、水資源を最大限に活用している。 ・下水道の熱を利用した高効率空調システムを採用し、水資源の有効利用に取り組んでいる。							6.4 6.6											
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			・ISO14001に基づく自己宣言型の環境管理活動を含んだ「中部電力グループ環境基本方針」のもと、「中部電力グループ環境対策会議」に参画している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・中部電力グループとして、中部電力のホームページに情報開示している。												12.6						
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			・太陽光発電、小水力発電および地熱発電など、再生可能エネルギーの利用を促進している。							7.2						13					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・建設廃材等由来の木質リサイクルチップおよびパーム椰子殻を燃料としたバイオマス発電設備を運営している。												12.2	13	14	15			
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・「中部電力グループ贈収賄・腐敗防止方針」のもと、「金品授受に関するガイドライン」「外国公務員贈賄防止規程・通則・指針」を制定し、従業員に周知している。 ・社長を議長としたコンプライアンス推進会議で、本取組みについて紹介するなど、教育を実施している。																16 16.5		
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・「中部電力グループコンプライアンス基本方針」のもと、「コンプライアンス推進会議規程」を制定し、不正競争行為を含むコンプライアンスを推進している。 ・社長を議長としたコンプライアンス推進会議において、適宜不正競争行為に関する啓蒙を実施している。																16		
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・当社の財産に影響をもたらす事象などのリスクを把握、対応する「リスク管理規程」を定め、知的財産の保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9									
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・「個人情報保護規程」に制定し、ホームページに公表している。 ・個人情報は、「文書・情報管理規程」に基づいて適切に管理している。 ・社内研修などでルールの徹底を図っている。																16		
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			・自社供給するLNGのサプライチェーンを把握し、取り扱っていないことを確認している。																16		
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・「中部電力グループCSR宣言」に基づく「中部電力グループ調達基本方針」のもと、サプライヤーや事業パートナーなどとコミュニケーションをとって、公正かつ誠実な取引を共に推進している。					5			8		10			12	13	14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			・2024年8月27日、「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表した。			3					8	9	10								17

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】 の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・遠隔システムで全ての設備を24時間監視する「監視センター」を設置し、設備の稼働状況や異常情報などを管理している。 ・異常等が発生したときは、最寄りの事業場から現地へ外向し、迅速に対応している。			3.9									12.4						
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・遠隔システムで全ての設備を24時間監視する「監視センター」を設置し、設備の稼働状況や異常情報などを管理している。 ・異常等が発生したときは、最寄りの事業場から現地へ外向し、迅速に対応している。 ・内部監査規程に従い、品質管理監査を実施している。								9										
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・太陽光発電、小水力発電および地熱発電など、再生可能エネルギーの利用を促進している。【予定】風力発電の事業性評価を行う。 ・設計時に省エネルギーに資する高効率な設備、システムを採用している。					6						12	13	14	15				
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	・農林水産業分野の社会課題解決に向けた新たな事業を検討し、実現を目指す。 ・エネルギーの地産地消(小諸の下水熱やサントリーの菌床、木質チップ)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・地域およびステークホルダーならびに施設見学者との対話を通じ、自社事業の地域への影響の把握をおこない、改善に努めている。				4				9			11	12		14	15		17	
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・下水熱利用、地熱利用などの環境性の高い新しい技術の開発に取り組み、これを拡大するための施設見学および講演・執筆に対応している。			4								11			14	15		17	
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地産地産、地産外商)している	チャレンジ			・バイオマス発電・ボイラーの燃料として、地産の間伐材やキノコ菌床などを利用する。								8	9		11	12	13					
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本			・「経営理念」を制定予定(2021年4月) ・中長期的な経営目標を定め、社内でも共有している。								8	9								17	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			・「中部電力グループ・コンプライアンス基本方針」のもと、「コンプライアンス推進会議規約」を制定し、コンプライアンスを推進している。 ・コンプライアンス推進会議の内容は社員へ周知し、コンプライアンスを行動指針に定めて展開している。 ・親会社である中部電力ミライズが主催するコンプライアンス研修に参加している。																16		
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			・「中部電力グループ・コンプライアンス基本方針」のもと、「コンプライアンス推進会議規程」を制定し、コンプライアンスを推進しており、中部電力に「共同ヘルプライン」の専門部署を設置している。 ・「リスク管理規程」を制定し、リスクを管理している。																16		
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本			・適宜ステークホルダーとの対話を通じ、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響の把握をおこない、改善に努めている。																16	17	
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			・「リスク管理規程」を制定し、リスクを管理(マネジメント)している。																	16	
41	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			・「中部電力グループCSR宣言」に基づく、「コンプライアンス基本方針」「環境基本方針」「社会貢献基本方針」のもと、中部電力グループの一員として責任を持った対応に取り組んでいる。																	16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			・「危機・災害管理規程」およびそれに基づく「初動対応指針」を制定し、事故や災害などの発生に対応している。 ・【予定】BCP(事業継続計画)を策定する。								9		11		13 13.1				16		
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			・親会社である中部電力ミライズとの人事交流を行うとともに、新卒および中途でプロパー社員を採用し、人材育成している。								8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定